

第1回世界エンジニアリングデーに際して

世界工学団体連盟（WFEO）は、昨年創立 50 周年を迎えたことを契機に、エンジニアの活動を広く人々に認識してもらい、あわせて SDGs（持続可能な開発目標）の推進に貢献することをアピールする目的で WFEO の創立日の 3 月 4 日を世界エンジニアリングデーとして制定しました。これを受けて、世界各国で記念行事が企画されました。我が国では、日本工学会が日本学術会議、日本工学アカデミーならびに関係学協会の協力を得て、記念シンポジウムを 3 月 5 日に開催するべく準備をして参りました。本シンポジウムでは、持続可能な成長に貢献する「工学の未来の姿」について様々な可能性を探ることを目的に、「工学教育の未来」、「技術者の役割・未来」と「工学の未来」の 3 部構成で、それぞれのテーマについて、登壇者によるショートスピーチに続いてダイアログ形式で意見交換を行う計画をしておりました。また、WFEO 会長の Gong Ke 教授からは、第 1 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウムの日本での開催に際して、お祝いのビデオメッセージを頂戴いたしました。

しかしながら、皆様ご存知の通り世界的な新型コロナウイルス感染拡大のために多くの行事が取りやめや延期をせざるを得ない状況となるなか、本行事も例外ではありませんでした。登壇者の方々、参加を予定されておられた皆様、本行事の準備をされておられた皆様におかれましては、ご協力をいただいたことを心から御礼を申し上げますとともに、皆様と一同に会して「工学の未来の姿」について議論ができなかったことが残念でなりません。登壇者の皆様からはご用意いただきました資料を公開することを許諾くださいましたので WFEO 会長の Gong Ke 教授から頂戴したメッセージとともに当会のホームページで公開させていただきます。是非、多くの皆様にご覧いただきたいと思っております。

日本工学会では、第 1 回世界エンジニアリングデーを迎えるに際して、以下の通り、本会の使命と活動方針について再確認を行いました。

日本工学会は、我が国の工学系学術団体の原点であるとの認識のもとに、
工学及び工業の包括的な振興と学際的な連携を通じて、
人々の幸福を希求し、社会の持続的な発展に貢献します。

そのために、本会が学協会の連合体組織であることを活かして、次の活動を行います。

- ・工学全般に亘る学術ならびに技術の価値を尊重し、その発展と普及を牽引する
- ・工学分野さらには工学分野を越えた異分野との連携を推進する
- ・工学に携わる技術者・研究者の人材育成ならびに活躍を支援する
- ・人類の諸課題を解決するために専門分野の枠を超えた取組みを促進する

第 1 回世界エンジニアリングデーを期に、本会の活動をさらに充実させて参りたいと思っておりますので、引き続き関係各位のご協力、ご支援をお願いいたします。なお、当日は、企画を担当した日本工学会の関係者で「スモールミーティング」を開催し、今後の活動などについて議論をいたしました。2021 年の第 2 回世界エンジニアリングデーには、シンポジウムを開催することといたしましたので、その折りに是非皆様と一緒に、「明るい未来を創造するためのエンジニアリング」について意見を取り交わしたいと思います。

日本工学会会長 岸本喜久雄

2020 年 3 月 5 日



スモールミーティング参加者



ミーティングの状況